

播磨南小学校

夢をはぐくむ南っ子に
「豊かな育ち」と「学ぶ力」を！

一人一人を大切に確かな学力の向上
 ○「伝え合う力」をキーワードに一人一人を大切に授業づくりに努めました。多くの児童が「授業が楽しく分かりやすい」と調査に答えています。
 ○算数を中心に少人数指導や複数指導、「計算めきめき」など、個に応じたきめ細かな指導を推進し、確かな学力の向上に努めました。
 ○実験観察、調査、討論、劇化、ゲームなど体験的学習、力を高める学習を積極的に展開しました。
 ○「朝の読書」は心の耕し、読書習慣への橋渡し、授業への集中力アップともなりました。
 ○ストローク鑑賞会や盲導犬クックとの福祉教室など感動体験の機会を充実させました。
 ○あいさつ、ひとの話をよく聞くなど「あひるの子」とも友だち」に取り組みました。
 ○英語活動では、外国人の先生と楽しく活動し、自然と多文化共生の心が育っています。
 ○「きらきら集会」、「南っ子遊び」、「チャレラン」など児童が主体となり、特色ある活動を推進しました。
 △地域と共に歩む学校づくり
 ○昔の遊び、ペタンク、グラウンドゴルフなど地域の皆さまと楽しく活動しました。
 ○古宮獅子保存会の「指導で、音楽会や秋祭り」で「狐」を演舞しました。
 ○ホームページを開設し、各種よりとともに「南小学校の今」を地域に発信してまいります。
<http://www.harinan.harimakyo.ku.jp/>



新しい教育委員の紹介

北林千鶴子さん

このたび教育委員に任命され、その重責に心引き締まる思いがしております。

長年、播磨町の幼稚園に勤務し、幼児のもつ優しさや湧き出るようなエネルギー、また子どもの幸せを願う保護者の方々の真摯な姿に感動を覚えておりました。同時に地域の皆さまには、子どもの成長にいろいろな形で手を貸していただき、感謝しております。

近年、子どもが育ちにくい環境にあると言われていますが、播磨町の文化や地域性など、そのよさを生かして、一人ひとりの子どもが夢に向かって着実に歩めるような教育が実現できるよう努力していきます。

よろしくお願ひ致します。

ながら推進しています。広報はりまに「早おき、早ね、朝ごはん」を連載するとともに、食育パンフレットの発行、食育講演会の開催など、様々な形での啓発を今後も続けていきます。

5. 人権教育・啓発のさらなる充実

地域のよりよい人間関係づくりをめざすための課題を解決するために、「いきいきフォーラム」では地域の実態に応じた活動が図られていますが、今後、さらに住民主体の「人権尊重の地域づくり」へと発展させていきます。

6. 生涯スポーツ・文化の拡充

生涯スポーツ・文化とともに多くの関係者や団体が参画と協働することで、これまで行政主導での活動から住民主体へと大きく変わってきました。さらに、NPO法人および関係団体が指定管理者として、住民の視点で地域や学校と連携しながら施設の管理運営を行なっています。

以上、本年度の主な取り組みの一端とその成果、今後の方向性をお知らせしましたが、私は「子どもは未来からの留学生」と受け止め、日本の未来を託す子どもたちにすばらしい教育環境を整えることが、大人社会の責務であると考えています。播磨町のみんなの手で播磨町の教育をつくり上げるためにご協力をお願いします。

新世代を担う心豊かな人づくり

教育長 松田政雄



教育長を拝命してまだ半年も経ちませんが、その間、わが国では教育基本法が改正され、いじめやそれによる自殺が大きな社会問題になり、またゆとり教育の見直しが声高に叫ばれるなど、めまぐるしい変化が続いています。

播磨町教育委員会におきましては、読書活動や英語活動、家庭教育、生涯学習など、年度当初に策定しておりました事業に向けて計画的に取り組むとともに、播磨北小学校の統廃合、いじめ対策などの課題にも精力的に取り組んできました。今年度を振り返っての成果と課題は次の通りです。

1. 小学校統廃合に伴う環境整備

播磨北小学校の児童が、安心して、希望を持って次の学校に通えるよう、教職員の研修や教室改造、通学路の整備を行ってきました。また、スクールカウンセラーや関係機関とのネットワーク化も進めていきたいと考えています。

2. 読書活動の推進

豊かな感性の涵養と読む力を育成するため、すべての学校の図書データベース化するとともに、毎週2回、司書を派遣しています。また大幅な蔵書入れ替えも行ったため、子どもの読書冊数が大きく伸びてきました。このような読書習慣を根付かせるとともに、町立図書館とのネットワーク化も進めていきたいと考えています。

3. 小学校英語活動の導入

国際人としての基礎的資質を身につけさせるため、幼児期からの英語活動を導入しました。特に小学校3年生以上では毎週1回、外国人講師と楽しく活動する機会を設けました。英語に親しむだけでなく、多文化共生の心が育ってくれることを望んでいます。

4. 家庭教育の推進

幼小一貫教育をさらに充実させ、幼児期からの基本的な生活習慣やしつけの大切さを、関係機関と連携をとり

蓮池小学校

豊かな人間性を
持った子の育成を目指して

本年度の主な取り組み

- ①基礎基本の確実な定着に力を入れています。
算教科において、確かな学びにつながる少人数指導を実施しています。
- ②幼小の連携教育を進めています。
園児と小学生児童が共に学ぶ場を設けるなど、望ましい連携のあり方を研修しています。
- ③子どもの心を大切にしています。
職員研修を充実し、スクールカウンセラーや関係機関との連携を深めています。
- ④関わりを大切にした保護者との連携を行っています。
「灯（あかり）の会（親父の会）」で作った池で5月末から6月中旬までずっと蛍が飛びました。
朝の読書の時間を実施しています。金曜日には「なでしこの会（母親の会）」の皆さんが、低学年児童に読み聞かせをしてくださっています。
・学年ごとに工夫した親子行事を実施しました。
1年 親子運動会
2年 親子綱引き
3年 親子遠足
4年 ミニ運動会
5年 親子ペタンク
6年 生と性講演会

今後に向けて

地域や保護者の皆さん方とともに、子どもたちが毎日、明るく、元気よく登校できるように職員一同、智慧を出していきたいと考えています。
<http://www.hasuke.harimakyo.ku.jp/>



播磨西幼稚園

豊かな心とたくましく生きる力の
基礎を育む

本園では、様々な人や物との出会いを通して、心豊かな経験ができるような生活の場を大切にしています。その中で、自分らしさをのびのびと表現したり、人とのかわりや社会生活に必要な態度を身につけたりできるような教育に取り組んできました。

本年度の主な取り組み

- ①豊かな心を育む教育の充実
遊びや生活の中で、自分の思いを互いに伝え合ったり、認め合ったりして、友達と一緒に生活する喜びを感じながら生活している姿が見られるようになりまし。
- ・季節が感じられる花を植えたり育てたりして心安らぐ環境づくりに努めました。
- ・「自分らしさをのびのびと表現できる子ども」をテーマにして教師の指導力を高めるため、保育研究を積極的に進めてきました。
- ②基本的な生活習慣の確立と健康教育の充実
様々な野菜を育てる、収穫する、調理してみんなで食べるなどの経験から、食への楽しさや大切さを感じることができました。また、基本的な生活リズムや生活習慣の確立の大切さを家庭に啓発すること、健康な生活ができるようになっています。
- ③幼稚園教育および小学校教育についての相互理解
昨年に続き、日常生活の中で交流を重ねてきました。小学校の運動場や体育館などで遊ぶ姿が多く見られるようになり生活の場が広がりました。



今後、家庭や地域との連携を大切にしながら、幼児一人ひとりが自分の思いを心豊かに表現し、健やかに成長できるような教育を推進していきたいと思っております。

播磨南中学校

未来に向かって主体的に
生きていくことができる力の育成

本年度の主な取り組み

- ①校内美化の推進
生徒会が中心となり「クリーンアップ南中」や美化コンクールなどを実施し、校内が美しくなり美化意識が高まりました。また、教師や部活生徒がワックスがけを実施し、廊下や一部教室もびかびかになりました。
- ②基礎・基本の定着
本年度も、指導や評価の方法をさらに見直し、基礎・基本を身につけさせるとともに、「生きる力」の育成を図る取り組みを推進してきました。また、英語科では、新学習システムにより、全学年少人数授業を実施し、「確かな学力」を育成しました。
- ③自己実現と共生への支援
部活動や各行事に自主的に取り組ませることにより、生徒たちには目標（夢）に向かって地道な努力を積み重ねる大切さや、友達とともに活動することの喜びを味わいました。そして練習や努力の成果を、遺憾なく発揮することができました。
- ④国際化・情報化への対応
子どもも多文化共生フロンティア推進校として、国際理解教育に取り組み、多文化理解に努めました。また総合的な学習で、全学年パソコンを使った学習を実施しました。
- ⑤地域や家庭からの支援
「トイヤやる・ウィーク」や廃品回収など、地域や保護者の方々のお世話になり、普段学校ではできない貴重な体験を通して、数多くのことを学ぶことができました。



温かいご支援・ご協力、ありがとうございました。来年度も、さらに充実した教育活動を推進します。
<http://www.harinan.jed.jp/>

温故知新

播磨西小学校

「故きを温ねて新しきを知る」古典の中には今私たちが忘れかけている美しい表現や生きる知恵が隠されています。「慮らずなんぞ獲ん、為さずなんぞ成らん」この西小の校訓が体育館に響きます。音読大会の当日、4年生の第一声です。4年生は社会で郷土の身近な歴史について学習しました。自分たちでテーマをもって昔調べをしていく中で、昔の教科書や教育の中に忘れかけた日本の美しさを発見しました。それは、言葉による表現の美しさです。ふだんの生活でほとんど使われない格調のある響きです。そのような美しい響きの文章を国語の時間や朝のショートタイムに音読して暗記していくことにしました。今は、自分たちで美しい言葉を探して紹介し合い、その中から気に入ったものを音読し暗唱しています。4年生の子どもたちにとっては難しい言葉で、まだ意味も十分には理解できないでしよすが、響きとして心に残っていていけば、将来においてきっと役立つっていくものと思えます。

「故きを温ねて新しきを知る」古典の中には今私たちが忘れかけている美しい表現や生きる知恵が隠されています。「慮らずなんぞ獲ん、為さずなんぞ成らん」この西小の校訓が体育館に響きます。音読大会の当日、4年生の第一声です。4年生は社会で郷土の身近な歴史について学習しました。自分たちでテーマをもって昔調べをしていく中で、昔の教科書や教育の中に忘れかけた日本の美しさを発見しました。それは、言葉による表現の美しさです。ふだんの生活でほとんど使われない格調のある響きです。そのような美しい響きの文章を国語の時間や朝のショートタイムに音読して暗記していくことにしました。今は、自分たちで美しい言葉を探して紹介し合い、その中から気に入ったものを音読し暗唱しています。4年生の子どもたちにとっては難しい言葉で、まだ意味も十分には理解できないでしよすが、響きとして心に残っていていけば、将来においてきっと役立つっていくものと思えます。



命を守る消防士さん、カッコいいな

蓮池小学校



▲消火きも使えるようになったよ



わあ、たくさんのホースだ▲

「敬礼」で始まった消ちゃん教室。1月17日(水)・19日(金)の2日間、播磨分署の方々を招いて体験学習を行いました。「火事です」と、ドキドキしながらの電話通報の訓練。水の勢いにびつくりした消火器での放水。救急車やポンプ車の来校にわくわくしながら、体験を通して、消防署の働きや多くの秘密を見つけることができました。「火事が出た時は、消すための道具がいっぱいあるんだなと思いました。私は命が一番大切なものだと思います」消防署の人は、みんなの安全のために一日中ずっと起きていてすごいです。

元気に書けたよ「元気な子」

播磨小学校



▲集中...

長い画仙紙に「元気な子」と書くのが今年の課題でした。体育館には、緊張感が漂い、静かな琴の音楽が流れる中、筆を真剣に運びました。「すごく緊張して手が震えたよ」「寒くて筆が思うように動かなかったよ」「1枚目はうまく書けなかったけど2枚目、3枚目は、うまく書けたよ」「一生懸命書けたよ」「習字は苦手だけど、今年は、去年より自信があるよ」「7枚目にやっと納得がいくなよ」「来年も書き初め大会したいな」「音楽がなかったら、今年も書き初め大会したいな」「音楽がなかったら、今年も書き初め大会したいな」いろいろな思いが出が残る中、元気に書いていきました。

冬休み気分も少し残る中、1月12日(金)3・4時



▲緊張と寒さの中、書き上げた品がとんとんとできあがっていました。

「へー」

播磨北小学校



「へー、Hello, Hello, Hello, How are you?」元気な歌声が廊下に広がっています。子どもたちが元気な声であいさつをしながら次々と学習室へ入ってきます。これから英語活動の時間です。クリスマス先生は、ニコニコしながらあいさつを返します。授業の始まりは英語の歌からです。

みんな、クリスマス先生が大好きです。先生の口から何が飛び出すか目を輝かせて見つめています。「クリスマス先生がおもしろいし、ゲームをしながら話すのすごく楽しいよ」「英語が大好きになりました。会話もできるようになってよかったです」と、子どもたちの声。子どもたちは、英語の時間をとても楽しみにしています。

地震が来たらどうしよう? 「落ち着いて避難・安全に下校」の訓練

播磨南小学校



▲机の下に一時避難!!

阪神・淡路大震災から12年。地震を体験していない子どもたちにその恐ろしさを感じてもらい、いざという時にどのように行動すればよいかを考えるために、1月17日(水)に防災訓練を行いました。事前の学習では震災の写真やビデオを見たり、体験談を読んだりして、「こんなにひどい災害だったんだ」「避難した人たちは助け合ってたんだ」「越えたんだね」と感想を話し合いました。震度6弱の地震を想定した防災訓練では、机の下にもぐったあと、落ち着いて安全に避難する訓練をしました。あわせて保護者への確実な引き渡しの訓練も行いました。「本当にこんな災害が起こったら大変だけど、毎年訓練しておけば少しは安心だね」「保護者と一緒に下校する子どもたちも、こんな声も聞かれました。

しよう! 創ろう! 広げよう!

~生徒中心の南中を~ 播磨南中学校



▲生徒会執行部全員集合!

この2日間は大変でしたが「これから1年頑張っていきたい」と一人ひとりが自覚できた有意義な2日間でした。生徒が主役で生き生きと生活できる南中目指して頑張ります! 応援よろしくお願いします。

市少年自然の家でリーダー研修会に参加し、今後の活動方針について話し合ってきました。この「しよう! 創ろう! 広げよう!」とは、あいさつの輪を広げよう、綺麗な学校をつくらう! 社会に貢献しよう、という3つの柱をもとに考えた目標です。この目標を決めるまで話がありスムーズに進まず、自分の考えを言葉にして伝えるのにも苦労しました。たくさん先生方に助けってもらいながら、やっとの思いで決定しました。

生オーケストラ初めて聴いた!!

播磨中学校



HYOGO PAC ORCHESTRA

12月7日(木)、西宮市の県立芸術文化センターへ1年生全員でオーケストラの鑑賞に行きました。その時の感想文です。「オーケストラの生演奏を聞いたのは初めてで、すごく感動しました。僕が特にいいなと思った楽器はヴァイオリンとフルートです。ヴァイオリンの音は何かかっこよくて聴いてるだけでワクワクするみたいだな音だし、コンサートマスターっていう人もかっこよかったです。フルートは優しい音で、きれいなフルートの音を聴いているとなんだか幸せな気分になりました。音楽に興味があった僕がこのオーケストラを聴いてちょっと好きになっちゃいました。無理だとは思っていても僕もオーケストラに入りたいなと思っていました。また家族で聴きに行けたらいいなと思います」初めての生のオーケストラ、心にズンときたようでした。

修学旅行だ!! in 北海道

播磨南高等学校



2年生が楽しみにしていた修学旅行の季節がきました。22回生は、1月28日(日)31日(水)の3泊4日で北海道に行ってきました。北海道は私たちが住んでいる地域とは全く異なる「雪世界」でした。空気は乾燥していて寒さも肌で感じるほどでした。北海道では、インストラクター指導のスキー・スノーボード、個人選択のアクティビティ(体験活動)を行い、最終日は、札幌を班別に行動して自主研修を行いました。スキー・スノーボードは初心者が多い中、インストラクターの分かりやすい説明のおかげで見違えるほど上達しました。札幌班別自主研修では、どの班も事前に調べたことを活かして行動できました。修学旅行で得たものを今後の学校生活に活かしたいと思えます。

2年生が楽しみにしていた修学旅行の季節がきました。22回生は、1月28日(日)31日(水)の3泊4日で北海道に行ってきました。北海道は私たちが住んでいる地域とは全く異なる「雪世界」でした。空気は乾燥していて寒さも肌で感じるほどでした。北海道では、インストラクター指導のスキー・スノーボード、個人選択のアクティビティ(体験活動)を行い、最終日は、札幌を班別に行動して自主研修を行いました。スキー・スノーボードは初心者が多い中、インストラクターの分かりやすい説明のおかげで見違えるほど上達しました。札幌班別自主研修では、どの班も事前に調べたことを活かして行動できました。修学旅行で得たものを今後の学校生活に活かしたいと思えます。

1月15日(月)、ニューイヤールコンサートでアンサンブル・マミーの方たちに弦楽四重奏を聴かせていただきました。



初めて見る楽器に不思議顔の子どもたち。

「あれ知ってる！ギターやで」「あのギター、むっちゃ大きいなあ」と友達に知っていることを自信いっぱい話している子どももいます。

「この歌知ってる！」と自分の知っている曲があると大きな声で歌ったり、リズムに合わせて体を揺らしたりしてとても楽しそうでした。

曲と曲の間にバイオリン、チェロ、ピアノという楽器の名前や大きさの違いを教えてもらって真剣に聞いていました。

素敵な音色、楽しかったよ!!

播磨幼稚園
素敵な音色を聞かせてもらって素敵な1年の始まりになりました。

ギターみたい...でも、ちょっと違うなあ...



4月から一緒に遊ぼうね!

播磨西幼稚園



▲さあ、くつをはいておそとであそぼうね

今日は、1日入園。4月

から入園する子どもたちを今か今かと待っていた園児たちは、「○○ちゃん、待ってたよ!」「何して遊ぶの?」と手をつなぎ、優しく聞いて部屋に案内していきます。

さっそく大好きなブロックや人形などで遊び始めました。しばらくするとお母さんを思い出して泣き出す新入園児に戸惑いながらも

「泣かんとさ」「外で遊ぼう!」となんとか楽しませようとする園児たちのお陰で皆で絵本を見るころにはすっかり笑顔になっていました。4月になったらまた一緒に遊ぼうね!

絵本、読んであげるよ

何つくりたい?▶



ゴシゴシゴシ、強い体になーれ!

蓮池幼稚園



▲お友達の背中をゴシゴシ!

「一緒にしよう!」と誘い、あつという間に長い列ができました。「トミーんなで背中を擦りましょ、ゴシゴシト!みんな強い体になーれ!」



外はまだ、冷たい風が吹いています。子どもたちは、鬼ごっこや縄跳びなどで体がポカポカになった後、乾布摩擦の始まりです。おうちの人の作ってもらった乾布摩擦のタオルを使い、自分たちの声を吹き込んだテープに合わせて体をこすります。タオルを上や下に移動してエレベーターのようにしたり、お友達の体をこせばし合いつこをしたり、部屋が笑い声でいっぱいです。次は、足の裏やふくらはぎをもみもみ、とんとん、気持ちいいね。そして、1番のお気に入り、お友達との背中を擦り合いつこです。



みてみて!! 給食おいしいよ

播磨保育園



今日は、楽しみにしていた給食参観の日です。

「ハイ! おかあさんも、しょうどくしてくださあ!」といつもよりはりきって給食当番をする子どもたち。今日の献立は、さわらのみそ焼き・大根と鶏肉の煮物・豆腐の味噌汁です。

園ではお米や野菜の一部は有機栽培のものを使っています。「このごはん、ふっくらしてるね」「大根もおいしそう」という声が聞こえてきました。

たくさんのお母さんに見られていてもと違う雰囲気、初めはとも静かでしたが、「ほく、さかなだいき!!」「つわあ、すごいね。家では野菜を食べないのにびっくりやわ」と親子の会話も弾み、子どもたちも満足そうでした。

「家庭では見られない子どもの姿を見ることが出来る、うれしかったです」と保護者の方にも喜んでいただきました。



▲今日はお母さんも一緒だね

あなたに

パトック

リレーエッセー⑩

お父ちゃん長生きしいや



渡辺 聡美さん (上野添)

趣味 パン作り、料理コンテストの応募、バドミントン、テニス、ガーデニング
職業は、着物着付け、他にロウフラワーをしています

結婚して13年、奈良の実家へ帰るのは年に数回、その度に71歳の父の信じられない話を母から聞かれます。会社人間で退職するまで家事や子育てなどしたことの無いお父ちゃんたちはこんなもんかなあと思っていたのですが、いくつか聞いてみました。

父「次に入った者がすぐ使えるやろ」「(おえ)」
またある時、私が入浴しようとして風呂のドアを開けたとたん、ものすごい湯気!!
私「おとん!! 沸かしっぱなしや!!」
父「沸かしといたったんや!」
私「煮えたぎってるわ!!」
まったたく、自分の過ちを認めないのです。

常識知らずという点では、以前信州旅行から帰ってきた

時のこと、「はい、お土産」と手渡された包みは、とってもしキレイなりんごのまんじゅうでした。

母「ちょっとこれサンプルやん!? あんた一番上の箱持って帰ってきたん!?」

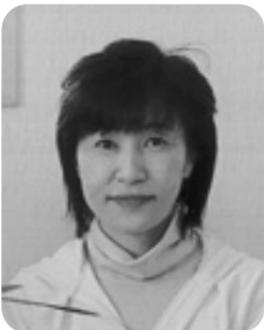
お土産屋さんって、1番上はサンプルで、その下の箱を取りますよね? しかし、父はサンプルを包んでもらって帰ってきたのです。まあこれはお店の方も何とも思わなかったのが不思議ですが。怒って電話をする父、「いやあ、うちの方でも探してたんです」と謝る店、横で聞いてあきれ

る母。おもしろいやな、思いません? その他自転車のサドルが上下できることを知らない。電球が取り替えられないなど。

これでボケたらどうなるんやろ。

早おき、早ね、朝ごはん

子どもがなかなか寝ないのですが、子どももって、夜になったら、自然に眠るものではないのですか。



播磨中央保育園 梶尾治子先生に聞きました

A 眠る環境をつくってあげないと、早寝は難しいものです。早く寝させることだけを考えるのではなく「昼間はたっぷり活動して、夜になると疲れて眠くなる」というサイクルの中で睡眠を考えてみましょう。

眠りと活動は密接に結びついています。例えば、昼間の運動量が少ないとか、夜におもしろいテレビに夢中になるとか、大好きなお父さんやお母さんが起きているというところがあれば、子どもが早く眠る環境にはならず、睡眠時間は減ってしまいます。睡眠時間が減ると当然、昼間の活動量も減ります。昼間の活動

量が減ると肥満になりやすくなり、肥満は運動不足を引き起こし、運動不足は体調の悪化や脳の働きの低下を招くことにもつながりかねません。

「寝る子は育つ」、子どもたちが元気に育ってくれることはみんなの願いです。そのためには、家族で早く眠る環境をつくると同時に、急に早く寝かせるのは大変ですので、まず「早おき」から始めてみましょう。「早起きして、朝の光をたっぷり浴びて、昼間は十分活動する」というサイクルをつくってみましょう。

県内外から820人が播磨町ロードレース大会に出走しました

1月28日(日)、第29回播磨町ロードレース大会が、催されました。ゲストランナーとして早稲実紀選手、招待選手として西脇工業高等学校陸上部と須磨学園高等学校陸上部の選手を迎えて、選手たちはそれぞれの目標に向かって総合体育館前をスタートしました。



▲一般10kmスタート 招待選手とともに ▲ファミリー部門「しんどかったぁ」



▲中学生女子 大切な上位入賞を目指して ▲多彩なメニューが並ぶ模擬店のにぎわい



▲一般10km 家族の声援が聞こえるゴール前 ▲大会は、たくさんのボランティアに支えられています



▲ゴールで迎えるボランティア「ここまでがんばれ！ゴールやで」

南小学校生まれのキジバト

冬休み中の12月末、南小学校正門横にある低木でキジバトの巣が見つかりました。巣の中の2羽の幼鳥は、羽毛の色が松の幹の茶色と、葉の緑にうまく溶け込む色です。発見した用務員の三木さんも、すぐ傍の枝を剪定するまで気づかなかつたと驚いていました。



▲2羽の幼鳥が見えますか？

播磨町花と緑の協会が 兵庫県「県民ボランティア活動賞」を受賞

平成18年度ひょうご県民ボランティア活動賞表彰式が、1月28日(日)に行われ、団体の部において、播磨町花と緑の協会(代表 鈴木貞一さん)が表彰されました。

同協会は公共施設や公園に花を植える活動を通して、潤いのあるまちづくりに貢献されています。また、季節ごとの植え替え作業では、集まる会員同士の交流が活発に行われ、地域コミュニティづくりに大きな活力を与えています。



▲花のまちをつくらっている皆さん

子育て支援グループ「トゥインクル」が 兵庫県「子育て応援元気アップ賞」を受賞

本年度創設された同賞は、地域で子育て活動に貢献されている個人・団体を表彰するものです。「トゥインクル」(代表 神吉恵さん)は、平成4年から月に2回、「おもちゃルーム」を開設し、おもちゃを使っている遊びの楽しさや面白さの中から、子どもの自発性や創造性を育む活動をしています。その他、町の夏まつりや緑化フェア会場に遊具コーナーを設け、参加する親子に遊びの場を提供するなど、メンバーが子育て経験や豊富な経験を生かし、子どもの健やかな成長と子育て中の親の支援活動が評価されたものです。



東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル) 播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

3月の放送予定 (収録場所 播磨町)
前半 3月5日(月)~18日(日)
●特集 まちの情報発信源、加古川市民ギャラリー (加古川市)
●ふれあいインフォメーション (各市町からのお知らせ)
後半 3月19日(月)~4月1日(日)
●特集 「おっばい外来」開設 (高砂市)
●ゆうゆうライフ (加古川市)

放送時間 (第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組
月・水・金 ①午前10時 ②午後5時 ③午後10時
火・木 ①午前8時 ②正午 ③午後6時
土・日 ①午前10時 ②午後6時 ③午後11時

わんぱくはりまっ子



ひだか 日高 ゆうき 祐樹くん (2歳) 古田

これからも元気いっぱいのお父さん・お母さんより



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

楽屋裏

町の北部に高い塔が立ち、気になる方もいるのではないのでしょうか? 県立考古博物館(仮称)の建物の一部です。完成後の外観が想像できるまで、工事が進んでいます。屋根に土が設置されているのが見えます。完成すると屋上緑化に覆われた建物になるそうです。工事にもなりますが、公園の様子も気になります。2月とは思えない陽気に誘われて、播磨大古代の村を歩いてみました。郷土資料館前の桜は、遅咲きの八重桜なのでまだですが、梅が咲き始めていました。この広報が、皆さんのお手元に届くころには紅白の梅が満開に咲き誇っていると思います。気の合う人と一緒に、お散歩に出掛けてみませんか? (宮)

いいね! はりま 町政レポート



▲青年海外協力隊の安福有紀子さんと

陽差しが少し春めいてきましたね。庁舎周辺の桜も、心なしかつぼみを膨らませてきたように感じます。春はもうここに来ています。今回、ひょうご県民ボランティア活動賞を受賞された「播磨町花と緑の協会」の方々の手で、年4回、庁舎前や北公園、向ヶ池公園などの植え替えをいただいています。暑い日、寒い日の水やりなど、会員さんのご苦労も大変ですが、町民の安らぎや、町のイメージアップにつながっていることに深く感謝しています。花いっぱいのまちづくり、あなたも一緒にいかがですか。(会員募集中)

2年前に、青年海外協力隊の一員として、ガーナ(アフリカ)に派遣されていた安福有紀子さんが、播磨町に帰ってこられました。ガーナの小さな村に薬剤師として勤務されながら見聞したこと、現地での体験談などを楽しく語っていただきました。播磨町の多くの若者に広く世界を体験して欲しいですね。

1月29日(日)、水田川の早期改修を国に要望するため、地元代議士、加古川市助役、県市町の職員とともに、国土交通省へ陳情に行ってきました。(昨年末から、県や近畿地方整備局などにも陳情済みです)加古川市と播磨町を流れる水田川は、過去から浸水などで流域の多くの住民が被害を受けてきました。平成4年から県事業でポンプ場や護岸工事がなされ、下流部の被害は減少しましたが、まだまだ未整備の区間が残っています。住民の安心・安全を確保するため、今後も加古川市と共に、国・県へ要望していきたいと思っています。

播磨町長 清水ひろ子